

大会名 Competition	第76回全国高等学校バスケットボール選手権大会 富山県予選		場所 Place	富山県西部体育センター
NO. 特2	日時	2023年11月5日	11:30	

高岡第一

高岡商業



79 10 1Q 19
21 2Q 9
22 3Q 17
26 4Q 17
○ / OT / ●

Crew Chief	Umpire 1	Umpire 2
板井 巖	一ノ谷 聡	柳原 弘彰

Table Officials
高岡南

高岡第一高校は2年ぶり6回目の優勝

高岡第一

NO	PL-in	選手氏名 Name of Players	PTS	3 P	2 P	FT	F	
1	4	/	稲田 希心	8	0	4	0	4
2	5	×	上田 翔志	0	0	0	0	3
3	6		永原 嵩真	0				
4	7		澤 優弥	0				
5	8	×	笹倉 快斗	44	8	6	8	2
6	9	×	能登 奏	17	1	6	2	1
7	10	/	横山 駈	4	0	1	2	2
8	11		名畑 洸星	0				
9	12		中村 藍志	0				
10	13	×	古市 蓮	6	0	3	0	1
11	14	×	古市 陸	0	0	0	0	2
12	15	/	荒地 琉成	0	0	0	0	1
13	16		上田 雄和	0				
14	17		田中 優蒼	0				
15	18		表 俊太郎	0				
コーチ	坂本 亮志							
Aコーチ	太田 晴							
合計			79	9	20	12	16	

高岡商業

NO	PL-in	選手氏名 Name of Players	PTS	3 P	2 P	FT	F	
1	4	×	馬場 壮一郎	14	0	5	4	1
2	5	×	種田 和貴	12	2	3	0	0
3	6	×	石崎 結也	17	1	5	4	5
4	7	×	荒井 優生	8	2	1	0	2
5	8		加藤 由修	0				
6	9		島崎 真瞳	0				
7	10	×	藤井 蓮	5	1	1	0	5
8	11		松崎 羽希	0				
9	12	/	中澤 翔空	0	0	0	0	2
10	13	/	加藤 雅也	3	1	0	0	0
11	14	/	湊 将伍	3	0	1	1	3
12	15		浅野 涼太	0				
13	16		吉江 颯太	0				
14	17		梅田 湮	0				
15	18		島田 晃多	0				
コーチ	丸山 良明							
Aコーチ	橘 昌宏							
合計			62	7	16	9	18	

戦評

※ ×:スターター /:交代選手 PTS:ポイント 3P:3Pポイントシュート 2P:2Pポイントシュート FT:フリースロー F:ファウル

1Qは高岡商業ボールでスタート。序盤はおたがい持ちつ持たれつの展開。双方良い形でシュートまで持っていつているが高岡商業がミドルレンジのプルアップや3Pシュートを決め切り、外してもオフェンスリバウンドからセカンドチャンスをものにしている。高岡商業が押している展開となり1Qは10対19で高岡商業がリードして終了。

2Qスタート直後、高岡商業4番、6番のレイアップで得点を重ね勢いに乗るかと思われたが、高岡第一も譲らず9番の個人技、速攻のレイアップを立て続けに決め、ここで高岡商業タイムアウト。タイムアウト後はギアを上げた高岡第一が速攻やフリースローなどで徐々に点差を縮める。1点差になった際に高岡商業が2度目のタイムアウト。タイムアウト後も高岡第一の勢いは止まらず、8番の3Pが決まり、高岡第一逆転。高岡第一のペースで試合が進み、2Qは31対28で高岡第一がリードして終了。

3Qは双方得点を取り合っているが高岡第一が徐々に押している展開となり、9点差となったところで高岡商業タイムアウト。タイムアウト後、高岡商業は2-3ゾーンDFを展開。DFから流れを作り、3Pシュートやバスケットカウント等を決め、徐々に高岡商業が流れを掴みだす。53対45の8点差で高岡第一がリードし3Q終了。

4Q、高岡第一もゾーンDFを展開。3Qで勢いをつけた高岡商業だが、高岡第一のゾーンDFを攻め切れない。対する高岡第一は、8番の勢い止まらず3Pを2本連続で決める。さらにスティールからのレイアップを決めたところで高岡商業タイムアウト。タイムアウト後も高岡第一のペースとなるかと思われたが、高岡商業も意地の食らいつき、2点シュートを立て続けに3本決め、高岡第一タイムアウトを取り流れを止める。タイムアウト後、高岡第一はしっかりと立て直し、高岡商業のゾーンDFを攻め切ってスコアを重ねる。試合終盤、高岡商業はDFでオールコートプレスをかけ6番の3Pシュート等で食い下がるが、高岡第一はプレスを落ち着いて突破し得点を着実にさらに重ね、最後は8番の8本目の3Pシュートが決まり試合終了。79対62で高岡第一が勝利し2年ぶり6度目の優勝を果たした。